

| | | | | | | | | | | |
|-------|--------------------|-----|---------|-----|---------|------------|---|-----|----|------|
| 科目名 | キャリア実習 4 | | | | | | | | 年度 | 2026 |
| 英語科目名 | Career practicum 4 | | | | | | | | 学期 | 通年 |
| 学科・学年 | スポーツトレーナー科三年制 3年次 | 必/選 | 選※ | 時間数 | 30 | 単位数 | 1 | 種別※ | 実習 | |
| 担当教員 | 田原 | | 教員の実務経験 | 有 | 実務経験の職種 | パーソナルトレーナー | | | | |

【科目の目的】

卒業後の進路を見据えて、スポーツトレーナーの仕事に関連する活動を実施していきます。活動を通じて自己のキャリア形成について学びます。

【科目の概要】

スポーツトレーナーとして活躍するために、勉強したこと活かし学内外でのボランティア活動や企業でのインターンシップ、スポーツ現場での実習を行い指導者としての資質を高めます。

【到達目標】

日頃の授業で学んでいることをアウトプットし、出来ること・出来ないことを確認し、出来ないことはできるように実践を積んでいく。そのなかで卒業後の進路や自身のキャリアに繋がる成長をする。

【授業の注意点】

学外での活動の際には、ビジネスマナーを徹底し失礼のない行動をしていくこと。日本工学院八王子専門学校スポーツトレーナー科を代表して活動していることを忘れない。

評価基準＝ルーブリック

| ルーブリック評価 | レベル3 優れている | | レベル2 ふつう | | レベル1 もう少し |
|----------|--|--|--------------------------|--|------------------------|
| 到達目標A | 自身のキャリアや人生を逆算して実習計画が立てられている | | 自身のキャリアを踏まえて実習計画が立てられている | | 卒業後のことを考えて実習計画が立てられている |
| 到達目標B | 実習計画に基づいて、実習を遂行し、イレギュラーが発生した際には計画の修正も出来ている | | 実習計画に基づいて、実習の遂行が出来ている | | 実習計画どおりに実習の遂行が出来ていない |
| 到達目標C | | | | | |
| 到達目標D | | | | | |
| 到達目標E | | | | | |

【教科書】

なし

【参考資料】

なし

【成績の評価方法・評価基準】

規定時間数以上の活動 + 報告書の提出

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

| 科目名 | | キャリア実習 4 | | | 年度 | 2026 |
|------|---------|---|------------------|--|------|------|
| 英語表記 | | | | | 学期 | 通年 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標＝修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| 1 | 実習計画の作成 | 計画的に実習に取り組むための準備 | 1 規定時間数分の実習計画の作成 | 自身のキャリアデザインを逆算する自身の行動計画を作成する | 3 | |
| 2 | 実習の遂行 | スポーツトレーナーの知識のアウトプット スポーツトレーナーの技術のアウトプット 社会人としてのスキルのアウトプット | 1 自身で計画した実習の遂行 | スポーツトレーナーの知識 スポーツトレーナーの技術社会人としてのスキル | 3 | |
| 3 | | | | | | |
| 4 | | | | | | |
| 5 | | | | | | |
| 6 | | | | | | |
| 7 | | | | | | |
| 8 | | | | | | |
| 9 | | | | | | |
| 10 | | | | | | |
| 11 | | | | | | |
| 12 | | | | | | |
| 13 | | | | | | |
| 14 | | | | | | |
| 15 | | | | | | |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等